

この情報はシンガポールに滞在される方々に対しジカ熱に対する正しい知識をもっていた
だき、効果的な自己防衛に役立てていただくことを目的として掲載をしております。なお、今後
も保健省及び環境庁のホームページ掲載情報が更新され次第、随時掲載してまいります。

平成 28 年 9 月 6 日
在シンガポール日本国大使館

隔離の中止、症状を伴う全シンガポール人に対し、
シンガポール保健省がジカウィルス感染症検査の補助金を拠出

以下の文章は、9月5日付のシンガポール保健省の報道発表を基に作成しています。

1. 2016年9月6日より、シンガポール保健省は、ジカの感染が疑われ、検査結果を待つ者に対する隔離を行わない。これまでのシンガポールにおけるジカの症例は軽度であり、確認された症例についても、医学的処置を必要としない限り、入院は要さない。9月7日より、シンガポール保健省は、ジカ
の症状を伴う全シンガポール人に対し、検査の補助金を拡大する。
2. 9月5日12時現在、これまでの感染症例や感染の見られた集団とは関連のない、新たな3集団、16事例が確認された。当地におけるヤブ蚊の存在を踏まえると、今後はより多くの地域においてジカの発生が予想される。そのため、シンガポール保健省及び環境庁は戦略を調整し、デング熱対策と同様の方策をジカ対策に用いる。

ジカの疑いがある症例及び確認された症例の隔離を中止

3. 現在、ジカの疑いがある全症例に対し、追加的予防措置として、血液検査の結果が確定するまで隔離入院を行っている。より多くの事例が発生していることから、感染した蚊によるコミュニティー内における伝染の形跡がある。さらに、患者の多くは症状を伴わない。したがって、症状のある患者を隔離することの効果は限定的である。
4. 他国の経験と同様、当地におけるこれまでのジカの症例は軽度の症状を示している。したがって感染した全患者に対する入院措置は不要である。
5. 2016年9月6日より、クリニックや病院での尿または（および）血液採

取後、患者は帰宅し結果を待つことができる。蚊から自身を守るアドバイスを受ける。ジカ検査に陽性となった患者は、医師が医学的に必要と判断した場合に限り入院となる。これはデング患者に対する措置と同様である。

症状を伴う全シンガポール人へのジカ検査の助成

6. ジカは一般的に軽度な病気であり、患者は通常 4–7 日以内に回復する。ジカウイルス感染症は、ウイルスが少数の胎児に小頭症を引き起こす場合があることから、妊娠女性により深刻な関係がある。妊娠女性が検査の結果、ジカに陽性となった場合、医師は女性の健康と赤ん坊の成長を緊密に経過観察していく。

妊娠していないシンガポール人に関するジカ検査の基準

7. 妊娠していない人に関しては、ジカ感染を確認することは臨床管理に影響を与えず、症状の緩和に焦点が置かれている現状である。しかしながら、(ジカ感染を確認することは) ベクター・コントロールをする上で有益である。これまでの我々のジカ検査にかかる判断は、大部分のジカ症例は感染地域(注)に集中しているという仮定に基づいている。感染地域に居住、勤務、就学し、症状を伴う者は無料で検査を受けることができる一方、それ以外の者は検査費用の全額を支払わなければならない。

(注) Aljunied Crescent/ Sims Drive/ Kallang Way/ Paya Lebar Way の感染が見られた集団、 Bedok North Avenue 3 の感染が見られた集団、 Joo Seng Road の感染が見られた集団。

8. しかしながら、国内の他地域においても症例が確認されていることから、感染が見られた集団のみに検査を集中するのではなく、下記のとおり、公共試験所における検査に対し補助金を拠出する。
9. 公的ヘルスケア機関において検査費用の助成を受ける患者は、ジカの症状を有する場合、居住地、勤務地、就学地に関わらず、60 S ドルで検査を受けることができる。検査が必要なが支払いが困難な患者は、Medifund といった支援を医療ソーシャルワーカーに相談できる。
10. 公的ヘルスケア機関における国民保険制度適用外の患者及び民間クリニックや病院の患者については、ジカ検査にかかる全額 150 S ドルを支払う。

11. 医師は、個人に対し、ジカ検査が必要か否かの医学的判断を今後も継続する。

シンガポール人の妊娠女性に関するジカ検査の基準

12. 妊娠している女性がジカ検査をより手ごろな価格かつ便利に利用できるように、今後も特別なグループとして扱う。医師は、ジカ検査が必要か否かの医学的判断を今後も継続し、ジカの症状を有するまたはジカ検査で陽性のパートナーを持つ女性については、公的ヘルスケア機関及び民間病院やクリニックの患者に対しても、公共試験所による無料の検査を継続する。
13. ジカと妊娠にかかる臨床諮問グループ（The Clinical Advisory Group on Zika and Pregnancy）は、ジカの症状もなく、男性パートナーがジカに陽性ではない妊娠女性の検査は通常推奨しないと勧告している。しかしながら、妊娠女性がジカ検査を望み、検査が必要であるとの医師の診断を受けた場合は、公的ヘルスケア機関で補助を受けた患者の場合、60 S ドルを支払い検査を受けることができる。
14. ジカ検査にかかる公共試験所費用の概要は、付属書 A のとおり。ジカ検査にかかる各資格グループに対する補助金は保健省が負担する。患者にはジカ検査費用のほかに、医師の診察料等その他通常費用の支払いが課される。

シンガポール人及び永住者向け公的試験所が提供するジカ検査の検査費用

患者		検査費用	
		補助金を受け る患者 (*)	プライベート の患者 (**)
妊娠して いない人	(1) 症状あり (発熱、発疹及び他の症状 (注1)) かつ (2) 医師から検査受けるよう診断 を受けていること	60 S ドル	\$150 S ドル
妊娠して いる人	(1 a) 症状あり (発熱、発疹及び他の症状 (注2)) または (1 b) 男性がパートナーがジカに 陽性であること かつ (2) 医師から検査受けるよう診断 を受けていること	無料	無料
	その他医師から検査を受けるよう診 断を受けていること	60 S ドル	150 S ドル

(*) 公的医療機関で補助金を受けている患者のみ

(**) 民間の医療機関の患者、公的医療機関の国民保険制度適用外の患者

(注1) 関節炎、筋肉の痛み、目の充血、頭痛が含まれる。

(注2) 関節炎、筋肉の痛み、目の充血、頭痛が含まれる。また、医師は、療養上の基準に厳密には合致しない症例を
検査するかを判断する場合がある。

原文 (英文) は、シンガポール保健省及び環境庁のウェブページをご覧ください。

(シンガポール保健省の発表)

https://www.moh.gov.sg/content/moh_web/home/pressRoom/pressRoomItemRelease/2016/press-release---cessation-of-isolation--moh-to-subsidise-zika-te.html